

教育長定例記者会見 会見録

日時：平成30年9月6日 11時30分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・第60回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会三重大会の開催

質疑事項

- ・発表項目について
- ・教育長の怪我について
- ・台風の被害について
- ・北海道における地震について
- ・新学期にあたっての自殺等の状況及び対応について

発表項目

(教育長) 一部報道にもございましたが、私、自宅のところで転びまして、膝を骨折してしまって、しばらくの間、こちらに登庁することもできず、皆様にご心配をおかけしましたことについて、お詫びをいたしたいと思っております。これからもどうか、よろしくお願ひいたします。中でいろいろな逆に勉強になったこともございますので、これからがんばっていきたく思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。

それでは、私の方からは、1点、発表させていただきます。第60回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会三重大会 三重大会の開催についてでございます。第60回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会 三重大会を、11月11日、日曜日に、桑名市のNTNシティホールで開催します。近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会は、富山県から和歌山県までの12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、価値の高いものを広く公開し、その鑑賞をつうじて、民俗文化財や民俗芸能への理解を深めようとするものです。12府県が実行委員会を組織し、持ち回りで開催しています。本県では、12年振り5回目の開催です。昭和34年の第1回大会から数え、記念すべき60回の節目を三重県で迎えることとなりました。第60回ということで、例年1件ほどであった、国の重要無形民俗文化財に指定された民俗芸能が3件出演する、見応えのある大会となっています。民俗文化財とは、人々が日常生活の中で生み出してきた伝承で、人々の生活の移り変わりを示すものを言います。具体的には、服装や食事、信仰、祭り行事などの暮らしに関するもので、民俗芸能もこのうちの一つです。民俗芸能とは、庶民の生活に根ざし、地域の神事や祭りの中で行われた芸能のことです。この大会では、12府県のうち、6府県から推薦された7つの民俗芸能が披露されます。本県からは、平成28年にユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」に登録された、国重要無形民俗文化財「桑名石取祭の祭車行事」の祭囃子と、今年3月に国重要無形民俗文化財に指定された、伊賀市「勝手神社の神事踊」が出演し、三重の民俗文化財の魅力を強くアピールする大会としていきます。この他、富山県からは華やかな稚児舞と獅子舞、石川県からは加賀百万石の城下町金沢が生んだ「加賀万歳」、伊

賀地域と接した滋賀県、奈良県からは太鼓踊り、京都府からは国重要無形民俗文化財「やすらい花」が出演します。県では、全国的に貴重な民俗文化財を守り伝えるため、映像記録の制作や、SNS、文化財ガイドによる情報発信を進めているところです。本大会の開催を大きなチャンスと捉え、一層、三重県らしい文化財の魅力を広く発信したいと考えています。入場は無料で、事前に入場整理券を配布し、当日は整理券をお持ちの方から優先して入場いただきます。普段はなかなか見ることのできない、貴重な民俗芸能が披露されますので、多くの県民の皆様にご観覧いただきたいと思います。

発表項目に関する質疑

(質) 入場者はどれくらいを見込まれているのか、また、SNS等で開催を発信するということですが、ツイッター等だと思いますが、具体的にSNSがどういったものなのか教えていただきたい。

(答 社会教育・文化財保護課) 見込みとして、NTNホールには1,300席ほどありますが、1階席は780席ほどですので、まずは、800人をめざしたいと思っています。過去、大阪の大会では500人ですので、もう少しいろんなところに声をかけてやっていきたいと思っています。SNSにつきましては、課のフェイスブックがございますので、そういったところを通じて、広く発信していきたいと考えています。

(質) ブロック大会ということですが、全国大会とかになっていくのでしょうか。

(答 社会教育・文化財保護課) これはブロックごとの大会であり、各地域がブロック大会を開催するものです。ただし、東京においては、11月24日に全国民俗芸能大会という全国的な大会が開催される予定です。

(質) このブロック大会が予選になっているというわけではないのか。

(答 社会教育・文化財保護課) そういうわけではありません。各地域が、各地の民俗芸能を発信していくものです。

その他の項目に関する質疑

○教育長の怪我について

(質) 足を怪我されたということですが、在宅勤務という形ですか。

(答) 在宅勤務というか、今はタブレット、スマホ、電話があるので、逐次、いろんな内容について、必ず報告をもらったり、相談したりをずっとして、常にお互いに情報をとりあいながら進めていたというのが事実です。

(質) 県庁に出勤したのは何日ぶりか。

(答) 怪我をしてからということですね。今日、9月6日が初めての出勤です。

(質) 怪我をされたのはいつですか。

(答) 8月19日の日曜日です。2、3年前に三重県北部に大雪がありまして、雨どいが曲がってきていて、庇の雨どいだったんですが、台風の季節、大雨になると、そこからぎゅーっと降ってくるので、私の家には軽トラックがございまして、そこが軽トラックの荷台に乗れば届くような位置だったので、戻せないかなとやってみました。脚立よりはトラックの方が面積も広いし、危ないだろうという自分の判断でやってみました。そうしたところ、トラックの荷台は後ろに扉(アオリ)があるんですけども、登る時は下ろして

そこから登ったんですが、作業していた近くのアオリに、サンダルとかでなく、長靴を履いて作業していたところ、よろけて長靴がアオリに引っかかって、下に左膝から落ちてしまったのが真実です。

(質) 怪我の箇所は左足。

(答) 左足の膝です。正式名称は、左脛骨高原骨折です。俗に言うと左膝です。

(質) 全治の見通しは。

(答) 普通に走れるようになるまでには、先生は多くて2ヶ月くらいは見ておいた方がいいかなと言われてます。これからだんだん加重のかけ方とかも勉強しながらとなります。

(質) 軽トラックの荷台で作業していて、長靴がどこにひっかかったんでしょうか。

(答) 軽トラックの荷台に、三方にアオリがあって、これが1枚ずつ下に落ちるようになってます。それが立っているところに左足がひっかかって落ちたということです。

(質) どれくらいの高さから。普通の荷台だったら1mくらい。

(答) 1mくらいですかね。

○台風の被害について

(質) 台風の関係ですが、文化財に新しい被害は見つかっていますか。

(答 社会教育・文化財保護課) 報道提供させていただいているのは5件ほどなんですけど、現時点で通報が次々と市町から来まして、正式には12時に防災の方へ報告させてもらいますけれども、現在、21件ほど、市町から報告されております。

(質) 重要文化財、国宝など、かなり重要度の高い物の案件もありますか。

(答 社会教育・文化財保護課) 国重要文化財、県の史跡指定もございますし、様々です。

(質) 主だった物を教えてもらえますか。

(答 社会教育・文化財保護課) 天然記念物で、津市に矢頭のオオスギというのがあるんですけども、かなり大木なんですけれども、幹が折れました。

(質) 幹が根元から折れるような、倒木したということでしょうか。

(答 社会教育・文化財保護課) 真ん中くらいから折れた。詳細がまだですので、また詳細を提供させていただきます。

(質) 他はどうでしょうか。

(答 社会教育・文化財保護課) 松阪に御城番屋敷土蔵というのが、県の有形文化財なんですけれども、しっくい剥落、棟瓦の飛散というのがあります。これもまだ状況をつかめていませんので、これから市町と連携して。

(質) これは重要文化財。

(答 社会教育・文化財保護課) 県の有形文化財。

(質) 天然記念物は、県が指定しているものですか。

(答 社会教育・文化財保護課) そうです。

(質) 国指定の物は。

(答 社会教育・文化財保護課) 国の重要文化財でありますと、伊勢市の旧賓日館が大広間、舞台、展示室で雨漏りという状況です。国史跡も、熊野の赤木城跡の説明板の倒壊ですとか、伊賀の旧崇広堂の台所棟の西側扉の破損があります。現時点での速報ですので、これから。

(質) 一覧を記者クラブへ、分かっている段階でいいので。

(答 社会教育・文化財保護課) 防災か総務を通じて提供します。

(質) 教育委員会からすぐに、直接、送っていただけると。分かっている段階でいいので。

(答 社会教育・文化財保護課) わかりました。

(質) 学校関係の施設とかに被害が新しく見つかったりだとか、今日も停電の影響でまだ学校でされているところがありますか。

(答 教育総務課) 停電の関係は、今朝、確認したところですが、県内の公立小中学校、県立学校で、休校等の措置をとっているところはないです。被害の状況は、先日の緊急部長会議で説明させていただいたとおりで、一部の学校では、屋根や窓ガラスの破損がありますが、授業ができなくなるなど、大きな被害につながるものは、ありません。

(質) 休校を決めたときは、どのような経緯で、何時の段階で決めましたか。

(答 教育総務課) 基本的には、各学校での判断になっています。大きくは、「暴風警報が出た場合などに、休校する」というのを、県教育委員会の「学校防災の手引き」等で、標準例として示させていただいていますが、最終的には各学校での判断と言う形になっています。

(質) 朝の10時とかの段階で休校を、各学校が判断すると。

(答 教育総務課) そうです。これから出るだろうということで、事前に判断した学校もありますし、実際に出てから判断したという学校もあります。

(質) 県教育委員会から、「大きい台風が来るから警戒するように」とか通達を出してたりするんでしょうか。

(答 教育総務課) 文部科学省からも注意喚起のメールが来ますので、それらが来た場合は随時、注意喚起を図っているのと、県の災害対策本部の資料なども提供させていただいて、注意喚起しています。県教育委員会から「休校してください」というところまで言うのではなくて、参考資料として流して、各学校での判断になります。

(質) それを今回もしたということでしょうか。

(答 教育総務課) はい。

○北海道における地震について

(質) 北海道で地震が起きていますけれども、三重県の高校生とかが修学旅行で行っているなどはありますか。

(答 教育総務課) こちらも朝一番で確認しまして、県内の公立小中学校と県立学校で、北海道に修学旅行等に行っているケースはありません。

○教育長の怪我について

(質) 骨折の話に戻りまして、勉強になったっていうのはなんですか。

(答) 私自身、病院の職場とか看護師の夜勤の状況とか、どういう方が入院しているのか、あるいは、高齢の方で認知症になっている方も病院にいらして、ナースステーションでその人たちを仕事しながら見ているとか、裏の現場というのを見たこと、体験したことがなくて、報道で見たりとか他の部局の報告で聞いたりはしたりとか、雑誌とかでは読んだことがあったんですが、実際自分の目で見て、こういう現状の中で看護師さん、医師という

のはこういう勤務で、それもほんとは一部かも知れませんが、垣間見させていただきましたので、医療職場というのがこういうことかということをお勉強させていただいたということがひとつ。もうひとつは、自分が思うように動きが全くできないので、体の動きにくさ、健康は大切にしなければいけないなということをお、改めて個人として感じたというのが、大きな、勉強になったという言葉が正しいか分かりませんが、そういうふうにお思いました。

(質)「医療の現場がこういうことか」というのは具体的にどういうことかと言うと、激務であるとか、大変な中でやっているっていう意味ですかね。

(答)看護師は看護師の業務をしていけばという感覚を私の中では持っていたんですけど、患者の「これをこういうふうにして」とかいうのを聞かれたりとか、あるいは、患者それぞれが感情を持っているので、看護師がぜんぜん悪くも無いのに、「この床が汚れるから拭きなさいよ」という声が病室から、患者の声として聞こえたりとか、淡々と看護師の業務をしているだけではないということ。もうひとつは、先ほど申し上げましたように、認知症の方と一緒にになりながら、私でいえば骨折のところだけでなく、「今日はどのようなことをしてるの」とか声をかけたりとか、そういう本当の業務、事務分掌以外のことも目を配りながらやっておられるなということ。うまく説明ができなくて申し訳ないです。

(質)それは教育委員会事務局の現場でも生かされると思ったということですか。

(答)そうですね。教育委員会もやはり縦割りというか、本当に弱い側の立場とか裏側の立場に立ったときに、そこから、そういう目線で物事も考えなくてはならないなということはお教育委員会の、特に事務局の職員なんかにも、上手に私の言葉で伝えられれば良いなと思いました。

(質)弱い立場、現場の目線で考えなければと思ったということですかね。

(答)そうですね。そのように感じましたね。

(質)軽トラですけど、聞いていたら、荷台にあがるときに荷台後部のゲートハッチは上げて上がったんですよね。荷台に上がった後、荷台からハッチをロックするのって結構大変だと思うんです。

(答)そういうのはしたことはないです。

(質)それでつまずいたんじゃないんですか。後ろは開けたままで、側面につまずいた？

(答)そうです。登る時は、側面を下ろして、後ろは上げたままでした。逆に上げていた方が危なくないでしょ、止まるでしょというイメージがあって、作業していたら、よろけて、ひっかかって、自分の体が落ちたということです。

(質)もっと言えば、側面だけを下ろすんじゃないくて、一般的には後ろを下ろしそうですが、横を下ろしたんですね。

(答)後ろのところに鍵が付いていて、鍵が4箇所付いていて、一面だけ外れるんですよ。荷台で作業しようと思ったので、広い側面を外して、登って、後ろは立ったまま。そこへよろけて。

(質)そのまま上がって、直していたら、右側へつまずいた感じですか。

(答)左側から落ちました。

(質)入院はいつからいつまでされておりましたか。

(答) 8月20日から9月5日までです。

(質) 救急搬送とかじゃなかったんですね。ご自身で病院に行かれた。

(答) 人に連れて行ってもらいました。自分では、靱帯を痛めたかなんかの感覚だったのは事実です。

(質) 四日市市内の病院だとかは。

(答) 病院名は、病院にご迷惑がかかりますので、私の住んでいる地域の病院ということで、四日市の病院です。

(質) 手術を受けましたか。

(答) 手術は受けました。

○新学期にあたっての自殺等の状況及び対応について

(質) 新学期が始まりまして、この時期、新学期で登校したくないというお子さんとか、自殺の問題というのが言われていますけど、三重県内でそういった何かトラブルとか県教委で把握していらっしゃいますか。

(答) それは病院にいますけど、把握しており、ないですね。私も同じように心配をしております、病院にいるときからずっと聞いていたんですけど、全くなくて、本当によかったなと思っております。

(質) それは自殺だとか、もしくは未遂をしたようなお子さんはいらっしゃらなかったということですね。

(答) はい。

(質) 今年度からLINEでの相談の取組が始まっていると思うんですが、何か新学期前後から相談件数が増えてきたりとか、学校に行きたくないみたいな相談がされているとか、そんな変化はあったんでしょうか。

(答) 私は8月末までの情報しか、まだ9月に入ってから、毎日毎日の出来事ですので、そこで特に相談が増えたからどうこうという相談は受けていませんので、それはもし必要でしたら報告しますが。

(質) 何か件数の変化がもしあれば。

(答) もしあればということによろしいですか。

(質) ないんであればないで教えてもらいたいです。

(答) わかりました。そしたら、それは報告させていただきます。

(質) 教育長としてのそのあたりの対策っていうんですかね、今後どんなふうにしていきたいっていうのは。

(答) それはSNSのことですか。

(質) SNSもそうですし、まだ新学期が始まって間もない時期なので、そういうお子さんの登校へのサポートというところで。

(答) やはり夏休みと新学期っていうのは環境が劇的に変化することというのもありますので、そういう意味合いで、お答えになっているかどうか、SNS相談というのものもあるし、いろんな形で電話相談っていうのも受けておりますので、何かあったらすぐ電話をほしいなと思っておりますし、職員も駅へ行ったりして、学校に行かない子だとか、電車で来たけれども、そこで駅にいて学校に行かないような子がいないかどうかとか、しばらくの間は

見に行っておりますので、その辺きちっとしたいと思えますし、ネットパトロールもこの時期重点的にやりたいなというふうに思っております。

(質) ネットパトロールというのは。

(答) もう少し具体的に、ネットパトロールについて。

(答 生徒指導課) 検索を専門とする業者に委託をしまして、子どもたちの不適切な書き込みであったり、危険な疑いがある書き込みがないかとか、今検索をしている時期です。

(以上) 11時59分 終了